

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】 20 安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにする
 【施策】 1 水害を少なくする
【基本事務事業】 2001 河川を整備する

【節】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興
 【項】 都市基盤の整備
 【基本計画区分】 502 【担当課】 5034000 河川清流課

【方針(目的)】
 台風及び集中豪雨による浸水被害を軽減する。

【外部環境の変化】
 良好な生活空間への意識が高まっている。

【取組み課題(現状と課題)】
 水害から市民を守るため、神明堀、春木川、長津川、紙敷川等の改修・整備を行います。

コード 配下事務事業名
 200101 河川改修事業
 200102 排水施設整備事業
 200103 公共下水道整備事業(再掲)
 200104 雨水流出抑制整備事業
 200105 浸水被害防止事業

【指標】	[H20]	[H21]	[H22]
整備面積率	57.5	57.7	57.8
(%)			
()	0	0	0

【内部要因(強み・弱み)】
 異常な集中豪雨により都市型水害が発生することがある。

【目指す成果(今後の方針)】
 時間雨量50mm規模の降雨に対応できる流域面積が増えます。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 200101 河川改修事業		担当課: 5034000 河川清流課									
		会計区分 一般会計			計画区分 計画事業						
【目的】 1時間に50mmの降雨で、洪水が発生しないように治水の安全度を向上させる。	【指標】 整備面積率 (%)	【指標概要】 整備換算面積 / 流域面積	基準値 57.3	[H20] 57.5	[H21] 57.7	[H22] 57.8	【事業費】 計画額 (一般財源) (単位: 千円)	[基準年] 190,013 21,122	[H20] 83,750 64,630	[H21] 92,650 44,469	[H22] 92,650 44,469
	()		0	0	0	0	職員数 (単位: 人)	2.85	2.85	2.85	2.85
【対象】 浸水被害が多発する地域住民	()		0	0	0	0	【関連する業務名称】 準用河川神明堀改修業務 関係機関連調整業務 市内一円河川改修業務				
【事前評価コメント】 時間雨量50mmに対応する河川改修を着実に進める必要がある。											

【計画事業】

【実施計画番号】 87 【計画事業名】 水害から市民を守るため、神明堀、春木川、長津川、紙敷川等の改修・整備を行います
 【節項コード】 502 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興
 【項名】 都市基盤の整備

	H20	H21	H22
計画	神明堀護岸工事L=38m・神明堀下流堤防 高上げ工事L=320m・平賀川 土質調査、実 施設設計、用地取得	神明堀護岸工事L=44m・平賀川河道改修工 事L=16m	平賀川河道改修工事L=44m
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		200102 排水施設整備事業	担当課: 5034000 河川清流課								
【目的】			会計区分 一般会計			計画区分 計画事業					
1時間に50mmの降雨で、洪水が発生しないように治水の安全度を向上させる。	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
	整備面積率 (%)	整備換算面積 / 流域面積	57.3	57.5	57.7	57.8	計画額 (一般財源) (単位: 千円)	274,109 108,747	767,197 377,087	947,002 313,992	945,109 260,699
	()		0	0	0	0	職員数 (単位: 人)	5.6	5.6	5.6	5.6
【対象】			0	0	0	0	【関連する業務名称】 排水路整備業務 排水機場等整備業務 春木川排水整備業務(継続費)				
浸水被害が多発する地域住民	()										
【事前評価コメント】 水害に対する安全性を高めるために、治水施設整備を着実に進める必要がある。											

【計画事業】

【実施計画番号】 87 【計画事業名】 水害から市民を守るため、神明堀、春木川、長津川、紙敷川等の改修・整備を行います
 【節項コード】 502 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興
 【項名】 都市基盤の整備

	H20	H21	H22
計画	春木川河道底下L = 100m・長津川流底底下L = 85m・紙敷川流底堀下げL = 100m・南花島水路撤去L = 28m・新田堀排水機場用地取得	春木川河道底下L = 160m・長津川流底底下L = 85m・紙敷川流底堀下げL = 40m・馬橋弁天バイパス管工L = 70m	春木川河道底下L = 94m・長津川バイパス管工L = 40m・小金清志町バイパス管工L = 200m・紙敷川流底堀下げL = 40m・馬橋弁天バイパス管工L = 72m
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		200103 公共下水道整備事業(再掲)	担当課: 5036000 下水道整備課				会計区分 下水道事業特別会計					計画区分 一般事業			
【目的】		川の水质を保全するため、下水道未整備地区を効果的に整備する。	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]	【関連する業務名称】			
		【指標】	【指標概要】				【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]	雨水管整備業務			
		下水道整備率(雨水)	排水区域面積÷市街化区域面積		37.5	37.6	37.7	37.9	計画額	97,508	361,090	394,798	473,559		
		(%)							(一般財源)	0	0	0	0		
									(単位:千円)						
		年間整備面積(雨水)			1	3.9	4.9	8.5	職員数	5	5	5	5		
		(ha)							(単位:人)						
【対象】		下水道未整備地区の市民・事業者	0	0	0	0									
		()													
		【事前評価コメント】													
		公営企業として公共性を重視している。													

【事務事業】		200104 雨水流出抑制整備事業	担当課: 5034000 河川清流課				会計区分 一般会計					計画区分 一般事業			
【目的】		洪水を一時的に貯留し、河川排水路等への負担を小さくする。	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]	【関連する業務名称】			
		【指標】	【指標概要】				【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]	雨水貯留池整備業務			
		流域抑制達成率	流出抑制実績量/目標抑制量		100	100	100	100	計画額	0	0	0	0		
		(%)							(一般財源)	0	0	0	0		
									(単位:千円)						
					0	0	0	0	職員数	0	0	0	0		
		()							(単位:人)						
【対象】		浸水被害が多発する地域住民	0	0	0	0						雨水流出抑制指導業務			
		()													
		【事前評価コメント】													
		引き続き、貯留を最大限に発揮させる必要がある。													

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		200105 浸水被害防止事業		担当課: 5031000 建設総務課								
【目的】		【指標】		会計区分 一般会計			計画区分 一般事業					
		【指標概要】		基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
・降雨による浸水被害が予想される住宅等の区域を指定し、土地の埋立又は盛土行為を規制し、浸水被害の防止を図る。 ・災害時における道路・橋梁等の応急修理・障害物の除去・その他応急措置等に対応する。	盛土事業規制区域のバトロールの実施	(回)	バトロール実施回数	4	4	4	4	計画額 (一般財源) (単位:千円)	4,967 4,967	10,869 10,869	10,869 10,869	10,869 10,869
	災害復旧	(%)	復旧件数 / 発生件数	100	100	100	100	職員数 (単位:人)	1.85	1.85	1.85	1.85
		()			0	0	0	0	【関連する業務名称】 盛土規制業務 復旧業務			
【対象】												
・松戸市盛土事業規制要綱により指定された区域において、住宅建設の目的以外で盛土事業をする人・台風や大雨により浸水被害を受けている或いは受ける恐れのある人	【事前評価コメント】 指定区域内における盛土行為の規制により、浸水被害の軽減を図り、災害時における応急対応により被害の拡大を防ぐことができる。											

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】 20 安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにする
 【施策】 1 水害を少なくする
 【基本事務事業】 2002 河川を管理する

【節】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興
 【項】 都市基盤の整備
 【基本計画区分】 502 【担当課】 5034000 河川清流課

【方針(目的)】
 河川及び排水施設を保全する。

【外部環境の変化】
 良好な生活空間への意識が高まっている。

【取組み課題(現状と課題)】
 地域排水ポンプの定期的な保守点検を実施し、雨水施設の機能維持に有効な措置を行います。

コード 配下事務事業名
 200201 河川管理事業
 200202 排水施設管理事業
 200203 公共下水道管理事業(再掲)
 200204 水防活動実施事業
 200205 災害復旧事業
 200206 雨水流出抑制管理事業

【指標】	[H20]	[H21]	[H22]
年間排水施設能力充足率 (%)	100	100	100
()	0	0	0

【内部要因(強み・弱み)】
 下水道施設の経年化が進んでいる。

【目指す成果(今後の方針)】
 常時稼働できる状態が保持できます。

【事務事業】 200201 河川管理事業

担当課: 5034000 河川清流課

【目的】
 低コストによる治水施設処理能力の継続と施設自体の延命を図る。

【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]
延命度 (点)	治水施設処理能力の維持出来ている状態	70	70	70	70
()		0	0	0	0
【対象】 河川に隣接する住民	()	0	0	0	0

会計区分 一般会計 計画区分 一般事業

【事業費】	【基準年】	[H20]	[H21]	[H22]
計画額 (一般財源) (単位:千円)	35,575	36,374	36,203	36,374
職員数 (単位:人)	33,142	33,941	33,770	33,941
	2.85	2.85	2.85	2.85

【関連する業務名称】
 河川維持管理業務
 排水機場等維持管理業務
 河川保全業務

【事前評価コメント】
 施設改修の集中投資が発生しないように、改修事業とバランスを図る必要がある。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 200202 排水施設管理事業		担当課: 5034000 河川清流課					会計区分 一般会計					計画区分 計画事業				
【目的】		【指標】		【指標概要】		基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]		
低コストによる治水施設処理能力の継続と施設自体の延命を図る。		延命度 (点)		治水施設処理能力の維持出来ている状態		70	70	70	70	計画額 (一般財源) (単位:千円)	103,252 103,252	179,578 179,578	191,578 191,578	166,078 166,078		
【対象】		()				0	0	0	0	職員数 (単位:人)	3.25	3.25	3.25	3.25		
雨水排除施設に隣接する住民		()				0	0	0	0	【関連する業務名称】 排水施設維持管理業務 排水機場等維持管理業務 排水施設保全業務 排水管更新業務						
【事前評価コメント】 施設改修の集中的投資が発生しないように、治水整備とバランスを図る必要がある。																

【計画事業】

【実施計画番号】 88 【計画事業名】 地域排水ポンプの定期的な保守点検を実施し、雨水施設の機能維持に有効な措置を行います
 【節項コード】 502 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興
 【項名】 都市基盤の整備

	H20	H21	H22
計画	・R 占用管撤去・排水機場及び排水施設の維持管理・馬橋排水機場ポンプ修繕・排水管の更新(きよしヶ丘2丁目地区)・長津川サイホン浚渫・地域排水ポンプ修理(3箇所)	・排水機場及び排水施設の維持管理・栄町排水機場ポンプ修繕・排水管の更新(古ヶ崎1丁目地区)・東堀水路浚渫・地域排水ポンプ修理(3箇所)	・排水機場及び排水施設の維持管理・馬橋排水機場補機設備修繕・排水管の更新(上矢切地区)・地域排水ポンプ修理(3箇所)
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		200203 公共下水道管理事業(再掲)	担当課: 5037000 下水道維持課								
【目的】			会計区分 下水道事業特別会計				計画区分 一般事業				
自然流下できない雨水排水を坂川に強制排水する	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
	施設の補修工事他維持管理費 (千円)	各駆動部等の点検検査や管理経費	40465	48365	45291	49308	計画額 (一般財源) (単位:千円)	40,465	48,365	45,291	49,308
	()		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	0.7	0.7	0.7	0.7
【対象】			0	0	0	0	【関連する業務名称】 小山ポンプ場維持管理業務				
松戸排水区のうち78haの坂川流域に居住する市民	()										
【事前評価コメント】 施設の老朽化に伴い年次計画により適切な改修を図っていきます。											

【事務事業】		200204 水防活動実施事業	担当課: 5034000 河川清流課								
【目的】			会計区分 一般会計				計画区分 一般事業				
近年、水害発生の危険性が高まる中、水防技術と意識を養い、水防体制の充実を図る。	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
	伝達時間 (分)	水防情報発表時から受信報告までの時間	42	42	42	42	計画額 (一般財源) (単位:千円)	1,016	3,022	372	1,022
	()		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	0.55	0.55	0.55	0.55
【対象】			0	0	0	0	【関連する業務名称】 東葛中部地区連合水防団負担金 水防倉庫維持管理業務				
江戸川浸水想定区域の住民	()										
【事前評価コメント】 引き続き、水防体制の維持を図る。											

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】

200205 災害復旧事業

担当課: 5034000 河川清流課

会計区分 一般会計

計画区分 一般事業

【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	会計区分 一般会計			【事業費】	計画区分 一般事業			
				[H20]	[H21]	[H22]		[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
災害発生時において、被害箇所の早期復旧を図る。	復旧率 (%)	復旧件数 / 災害件数	100	100	100	100	計画額 (一般財源) (単位: 千円)	0	0	0	0
	()		0	0	0	0	職員数 (単位: 人)	0	0	0	0
【対象】							【関連する業務名称】				
災害を受けた住民	()		0	0	0	0					
		【事前評価コメント】 災害を受けた場合に実施する。									

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 200206 雨水流出抑制管理事業

担当課: 5034000 河川清流課

【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	会計区分 一般会計			計画区分 計画事業				
				[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
洪水を一時的に貯留し、河川・排水路等への負担を小さくする。	延命度 (点)	貯留施設機能の維持出来ている状態	70	70	70	70	計画額 (一般財源) (単位:千円)	8,240 8,240	9,821 9,821	9,821 9,821	9,821 9,821
	()		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	1.65	1.65	1.65	1.65
【対象】 浸水被害が多発する地域住民	()		0	0	0	0	【関連する業務名称】 遊水地保全業務 雨水貯留池維持管理業務				
【事前評価コメント】 引き続き、機能を最大限に発揮させる必要がある。											

【計画事業】

【実施計画番号】 88 【計画事業名】 地域排水ポンプの定期的な保守点検を実施し、雨水施設の機能維持に有効な措置を行います

【節項コード】 502 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

【項名】 都市基盤の整備

	H20	H21	H22
計画	貯留浸透施設の清掃・修繕、遊水地の機能管理	貯留浸透施設の清掃・修繕、遊水地の機能管理	貯留浸透施設の清掃・修繕、遊水地の機能管理
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】	20 安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにする	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	2 水環境をよくする	【項】	人と自然が共生するまちづくり
【基本事務事業】	2003 水量を維持する	【基本計画区分】	402 【担当課】 5034100 河川清流課・清流ルネッサンス担当室

【方針(目的)】	健全な水循環を確保し、良好な河川環境を創出する	【外部環境の変化】	良好な水辺空間を求める意識が高まっている。 平常時の河川・水路の水量が欠乏する地域がある。	【取組み課題(現状と課題)】	環境用水確保と施設整備のために、権利調整(関係機関との協議)や基本計画の策定が必要である。	コード	配下事務事業名
						200301	河川環境用水確保事業
						200302	雨水浸透推進事業

【指標】	[H20]	[H21]	[H22]	【内部要因(強み・弱み)】	【目指す成果(今後の方針)】
「生きた川」の改善率	70	70	75	水環境・自然環境の再生を望む市民・団体の活動が高まっている。市単独の取組みでは実現できない。	関係機関と協議を進め、地元の市民・団体などとの計画づくりをすすめる。
(%)					
	0	0	0		
()					

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		200301 河川環境用水確保事業	担当課: 5034100 河川清流課・清流ルネッサンス担当室				会計区分 一般会計					計画区分 計画事業		
【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	【基準年】	[H20]	[H21]	[H22]			
市民・関係機関の水循環改善への理解を促進し、健全な河川環境を確保する	導水確保率 (%)	導水量/計画導水量(計画した導水量に対し確保した割合)	100	100	100	100	計画額 (一般財源) (単位:千円)	0 0	8,000 8,000	16,000 16,000	0 0			
	()		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	0.2	0.2	0.2	0.2			
【対象】			0	0	0	0	【関連する業務名称】 導水計画業務 導水施設整備業務 導水施設管理業務							
市民(通勤、通学者を含む)	()													
【事前評価コメント】														
公共下水道の整備により、市内河川の流量が減少する傾向にある。市内河川の水量を確保し、良好な水環境を実現する為には導水施設の設置が必要であるが、関係機関との合意形成や支援・協力が必要となる。														

【計画事業】

【実施計画番号】 59 【計画事業名】 水辺に対する多様な市民の要求や活動に応えられるように、河川の環境を活かした水辺空間を整備します
 【節項コード】 402 【節名】 安全で快適な生活環境の実現
 【項名】 人と自然が共生するまちづくり

	H20	H21	H22
計画	小山親水路整備	旭町水辺空間整備	
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		200302 雨水浸透推進事業		担当課: 5034100 河川清流課・清流ルネッサンス担当室							
【目的】		会計区分 一般会計				計画区分 一般事業					
健全な水循環を確保し、水害の軽減を図る	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
	浸透達成率 (%)	浸透実績量/目標浸透量	100	100	100	100	計画額 (一般財源) (単位:千円)	483	500	500	500
	()		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	0.95	0.95	0.95	0.95
			0	0	0	0	【関連する業務名称】 雨水浸透指導業務 雨水浸透施設設置業務				
【対象】 市民(通勤、通学者を含む)	()		0	0	0	0					
【事前評価コメント】 健全な水の循環を確保するには、広く市民・事業者の理解と協力が必要											

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】	20 安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにする	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	2 水環境をよくする	【項】	人と自然が共生するまちづくり
【基本事務事業】	2004 水質をよくする	【基本計画区分】	402 【担当課】 5034100 河川清流課・清流ルネッサンス担当室

【方針(目的)】	水辺の汚濁を減らし、良好な生活環境を確保する	【外部環境の変化】	身近に緑や花があることが望まれている。 良好な生活空間への意識が高まっている。	【取組み課題(現状と課題)】	国・県などの河川管理者や市民団体などと連携して、環境学習や自然体験活動などを支援します。 既存の雨水施設の機能を維持するため、地域排水ポンプの日常点検を行います。	コード	配下事務事業名
						200401	水質改善推進事業
						200402	排水規制指導事業
						200403	公共用水域・地下水等保全事業

【指標】	[H20]	[H21]	[H22]	【内部要因(強み・弱み)】	【目指す成果(今後の方針)】
川の水質改善率	75	75	80	まちづくりに係る河川・緑・街等の環境に関心のある市民団体等が活動している。 下水道施設の経年劣化が進んでいる。	市民が主体となって河川を活用した活動が行えるようになります。 常時稼働できる状態が確保できます。
(%)					
水辺の市民活動参加率	70	72	75		
(%)					

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		200401 水質改善推進事業	担当課: 5034100 河川清流課・清流ルネッサンス担当室								
【目的】			会計区分 一般会計			計画区分 計画事業					
市民の水環境への意識向上を図り、健全な水質の確保を行う。	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	【基準年】	[H20]	[H21]	[H22]
	汚れの原因認知度 (%)	市民アンケート(川の汚れと家庭排水の関係について理解している割合)	93	95	95	95	計画額 (一般財源) (単位:千円)	25,435 14,261	28,959 16,693	28,959 16,693	28,959 16,693
	浄化安定度 (%)	浄化施設が適正に機能した割合(稼働時間/計画稼働時間)	100	100	100	100	職員数 (単位:人)	2.35	2.35	2.35	2.35
【対象】			0	0	0	0	【関連する業務名称】 浄化施設整備業務 浄化施設維持管理業務 川をきれいにする啓発業務				
							【事前評価コメント】 真間川流域での公共下水道整備が遅れている。下水道整備の進捗状況を鑑み、総合的に施設整備を検討する必要がある。				

【計画事業】

【実施計画番号】 88 【計画事業名】 地域排水ポンプの定期的な保守点検を実施し、雨水施設の機能維持に有効な措置を行います 他1事業
 【節項コード】 402 【節名】 安全で快適な生活環境の実現
 【項名】 人と自然が共生するまちづくり

	H20	H21	H22
計画	川をきれいにする啓発(河川愛護啓発・河川見学会・環境学習共催)	川をきれいにする啓発(河川愛護啓発・河川見学会・環境学習共催)	川をきれいにする啓発(河川愛護啓発・河川見学会・環境学習共催)
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)
 【実施計画番号】60 国・県などの河川管理者や市民団体などと連携して、環境学習や自然体験活動などを支援します

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		200402 排水規制指導事業	担当課: 5034100 河川清流課・清流ルネッサンス担当室								
【目的】			会計区分 一般会計			計画区分 計画事業					
市民の水環境への理解を促進し、家庭排水に起因する水質悪化を低減させる。	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	【基準年】	[H20]	[H21]	[H22]
	家庭排水対策実施率 (%)	市民アンケート	83	85	86	87	計画額 (一般財源) (単位:千円)	3,578	3,644	3,644	3,644
	()		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	1.1	1.1	1.1	1.1
【対象】			0	0	0	0	【関連する業務名称】 家庭内浄化対策業務				
市民(市内居住者)	()										
【事前評価コメント】 真間川流域で公共下水道の整備が遅れている。家庭でできる浄化対策の理解と実践が必要。											

【計画事業】

【実施計画番号】 60 【計画事業名】 国・県などの河川管理者や市民団体などと連携して、環境学習や自然体験活動などを支援します
 【節項コード】 402 【節名】 安全で快適な生活環境の実現
 【項名】 人と自然が共生するまちづくり

	H20	H21	H22
計画	家庭での浄化対策の啓発(街頭啓発4日/年・他)	家庭での浄化対策の啓発(街頭啓発4日/年・他)	家庭での浄化対策の啓発(街頭啓発4日/年・他)
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】

200403 公共用水域・地下水等保全事業

担当課: 3942000 環境保全課

【目的】

公共用水域及び地下水を保全するために、法に基づき規制、指導、監視等を行なう。

【指標】

【指標概要】

基準値

[H20]

[H21]

[H22]

【事業費】

計画区分 一般会計

【事業費】

【事業費】

計画額

(一般財源)

(単位: 千円)

職員数

(単位: 人)

【関連する業務名称】

公共用水域水質保全業務

公共用水域水質調査業務

情報提供業務

生活排水対策浄化槽推進業務

地下水汚染等防止業務

水質改善指導件数

(件)

水質汚濁防止法に基づき違反事業者に対して行なった指導件数

12

12

12

12

49,310

29,878

59,973

38,019

59,646

37,692

59,223

37,269

地下水汚染地区の数

(地区)

市内で確認されている地下水汚染地区の数

10

10

10

10

4.8

4.8

4.8

4.8

【対象】

水質汚濁防止法の特定事業場等、下水道未普及市民

生活環境項目(BOD)の環境基準適合率

(%)

環境基準に適合した検体数 / 測定検体数 × 100

100

100

100

100

【事前評価コメント】

公共用水域は市内3河川とも環境基準を達成。また、地下水は汚染地区の減少が認められた。今後は、きれいになった川等に対して市民の関心も高く、より一層、きめこまかな環境保全対策を実施する。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】	20 安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにする	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	2 水環境をよくする	【項】	人と自然が共生するまちづくり
【基本事務事業】	2005 水辺空間をよくする	【基本計画区分】	402 【担当課】 5034100 河川清流課・清流ルネッサンス担当室

【方針(目的)】	水辺の魅力や多様性を生かし、水辺での活動や利用を促進する	【外部環境の変化】	身近に緑や花があることが望まれている。	【取組み課題(現状と課題)】	水辺に対する多様な市民の要求や活動に応えられるように、河川の間環境を活かした水辺空間を整備します。国・県などの河川管理者や市民団体などと連携して、環境学習や自然体験活動などを支援します。	コード	配下事務事業名
						200501	水辺拠点事業
						200502	水辺活動推進事業

【指標】	[H20]	[H21]	[H22]	【内部要因(強み・弱み)】	【目指す成果(今後の方針)】
水辺施設の整備率	50	55	60	未利用地財産の有効活用ができていない。まちづくりに係る河川・緑・街等の環境に関心のある市民団体等が活動している。	良好な水辺空間にふれあえる場所が増えます。市民が主体となって河川を活用した活動が行えるようになります。
(%)					
()	0	0	0		

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		200501 水辺拠点事業	担当課: 5034100 河川清流課・清流ルネッサンス担当室									
【目的】			会計区分 一般会計			計画区分 計画事業						
ゆとりと潤いのある水辺空間を形成し都市環境の向上を図る。	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	【基準年】	[H20]	[H21]	[H22]	
	施設認知度 (%)	市民・利用者アンケートによる施設認知の割合	0	75	75	75	計画額 (一般財源) (単位:千円)	20,738 20,738	26,450 26,450	21,650 21,650	24,850 24,850	
	()		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	1.4	1.4	1.4	1.4	
【対象】			0	0	0	0	【関連する業務名称】 水辺の施設整備業務 湧水保全業務 多自然型護岸整備業務 水辺の施設維持管理業務					
市民(通勤・通学者を含む)	()		0	0	0	0						
【事前評価コメント】 国・県などの河川管理者との合意形成が必要。回廊づくり計画との整合を図ることが必要。												

【計画事業】

【実施計画番号】 59 【計画事業名】 水辺に対する多様な市民の要求や活動に応えられるように、河川の環境を活かした水辺空間を整備します
 【節項コード】 402 【節名】 安全で快適な生活環境の実現
 【項名】 人と自然が共生するまちづくり

	H20	H21	H22
計画	坂川河川再生支援ワンド整備	坂川河川再生支援	坂川河川再生支援横須賀水辺の楽校
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		200502 水辺活動推進事業	担当課: 5034100 河川清流課・清流ルネッサンス担当室								
【目的】			会計区分 一般会計			計画区分 計画事業					
河川、水辺を生かしたまちづくり、活動に多くの市民・団体が主体的に参加するようにする	【指標】 水辺の市民活動 (%)	【指標概要】 市民が主体となって行ったイベント等の割合	基準値 75	[H20] 80	[H21] 80	[H22] 80	【事業費】 計画額 (一般財源) (単位:千円)	【基準年】 1,745	[H20] 3,450	[H21] 3,450	[H22] 3,450
	()		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	1.4	1.4	1.4	1.4
【対象】 市民(通勤、通学者を含む)	()		0	0	0	0	【関連する業務名称】 水辺の交流推進業務 水辺の活動支援業務 江戸川フラワーライン整備業務				
【事前評価コメント】 河川、水辺を生かしたまちづくり、活動に多くの市民・団体が主体的に参画できる組織づくりの支援を図っていく。											

【計画事業】

【実施計画番号】 60 【計画事業名】 国・県などの河川管理者や市民団体などと連携して、環境学習や自然体験活動などを支援します
 【節項コード】 402 【節名】 安全で快適な生活環境の実現
 【項名】 人と自然が共生するまちづくり

	H20	H21	H22
計画	フラワーライン整備 情報発信 活動組織との交流	フラワーライン整備 情報発信 活動組織との交流	フラワーライン整備 情報発信 活動組織との交流
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】 20 安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにする
 【施策】 2 水環境をよくする
【基本事務事業】 2006 下水道を整備する

【節】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興
 【項】 都市基盤の整備
 【基本計画区分】 502 【担当課】 5036000 下水道整備課

【方針(目的)】
 川の水質を保全するために、下水道未整備地区を効果的に資本整備する。

【外部環境の変化】
 良好な生活空間への意識が高まっている。

【取組み課題(現状と課題)】
 下水道は、現状の抑制した整備面積(整備量)で継続する。災害時における液状化が想定されている緊急輸送路等に埋設されている管渠の耐震化及び主要な避難所におけるマンホールトイレの整備を行います。

コード 配下事務事業名
 200601 公共下水道整備事業
 200602 流域下水道建設負担金
 200603 下水道償還元金
 200604 下水道償還利子
 200605 予備費

【指標】	[H20]	[H21]	[H22]
年間整備面積 (ha)	30.6	29.1	31.3
緊急地震対策進捗率 (%)	14.4	41.8	64.9

【内部要因(強み・弱み)】
 下水道普及率が7割を超えており、他市と比較しても高い方である。市街地形成に必要な下水道に関する技術の蓄積がある。下水道施設の経年劣化が進んでいる。

【目指す成果(今後の方針)】
 一定の年間整備面積を確保し、下水道を整備する。地震時においても管渠及び避難所におけるトイレの機能を確保できます。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 200601 公共下水道整備事業		担当課: 5036000 下水道整備課									
		会計区分 下水道事業特別会計			計画区分 計画事業						
【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	【基準年】	[H20]	[H21]	[H22]
川の水質を保全するため下水道未整備地区を効果的に整備する。	下水道整備率 (%)	処理区域面積÷下水道計画全体面積	60.5	61.6	62.1	62.6	計画額 (一般財源) (単位:千円)	1,835,032 543,685	1,947,717 27,609	2,133,504 16,949	2,097,191 18,199
	年間整備面積 (ha)		41.8	30.6	29.1	31.3	職員数 (単位:人)	22.1	22.1	22.1	22.1
【対象】	緊急地震対策進捗率 (%)	マンホール浮上防止対策整備路線延長÷マンホール浮上防止対策全体路線延長	0	14.4	41.8	64.9	【関連する業務名称】 幹線幹線整備業務 枝線等整備業務 下水道施設改築業務 管渠整備関連業務 東京外かく環状道路関連業務 私道下水道敷設補助金 受益者負担金管理業務 下水道整備関係業務 下水道施設耐震化業務				
【事前評価コメント】 公営企業として公共性を重視している。											

【計画事業】

【実施計画番号】 86 【計画事業名】 計画事業名称の全文は、備考欄に掲載しています。
 【節項コード】 502 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興
 【項名】 都市基盤の整備

	H20	H21	H22
計画			
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)
 実施計画名称全文「下水道施設の計画的な調査を実施し、適切な改修を行うとともに、災害時における液状化が想定されている緊急輸送路等に埋設されている管渠の耐震化及び主要な避難所におけるマンホールトイレの整備を行います」

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		200602 流域下水道建設負担金	担当課: 5036000 下水道整備課									
【目的】			会計区分 下水道事業特別会計				計画区分 一般事業					
流域下水道事業の建設費を負担することにより、汚水を適正に処理する。	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]	
	執行率	支出額 ÷ 計画額	100	100	100	100	計画額	426,773	530,421	530,421	530,421	
	(%)						(一般財源)	0	0	0	0	
			0	0	0	0	(単位: 千円)					
							職員数	0.1	0.1	0.1	0.1	
							(単位: 人)					
【対象】			0	0	0	0	【関連する業務名称】					
千葉県							江戸川左岸流域下水道建設費負担金 手賀沼流域下水道建設費負担金					
【事前評価コメント】		下水道法による県の事業に対する負担金であり義務的な支出である。										

【事務事業】		200603 下水道償還元金	担当課: 5036000 下水道整備課									
【目的】			会計区分 下水道事業特別会計				計画区分 一般事業					
借り入れた起債について適正に償還する。	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]	
	執行率	支出額 ÷ 計画額	100	100	100	100	計画額	3,619,999	3,685,389	3,824,881	3,838,754	
	(%)						(一般財源)	886,467	0	146,543	296,359	
			2	2	3	3	(単位: 千円)					
							職員数	0	0	0	0	
							(単位: 人)					
【対象】			0	0	0	0	【関連する業務名称】					
総務省・千葉県・公営企業金融公庫												
【事前評価コメント】		地方財政法による下水道整備財源として借り入れた元金の償還であり、義務的経費である。										

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		200604	下水道償還利子	担当課: 5036000 下水道整備課							
【目的】		借り入れた起債について適正に償還する。		会計区分 下水道事業特別会計	計画区分 一般事業						
【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]	
執行率	支出額 ÷ 計画額	100	100	100	100	計画額	2,643,058	2,476,405	2,385,053	2,283,620	
(%)						(一般財源)	788,213	2,472,792	2,385,053	2,283,620	
						(単位: 千円)					
		0	0	0	0	職員数	0	0	0	0	
						(単位: 人)					
【対象】		総務省・千葉県・公営企業金融公庫		0		0		0		0	
【事前評価コメント】		地方財政法による下水道整備財源として借り入れた元金に対する利子であり、義務的経費である。									

【事務事業】		200605	予備費	担当課: 5036000 下水道整備課							
【目的】		特別会計として想定し得ない緊急時への対応として、予備費を設定する。		会計区分 下水道事業特別会計	計画区分 一般事業						
【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]	
充用執行率	充用額 ÷ 予備費	0	0	0	0	計画額	0	10,000	10,000	10,000	
(%)						(一般財源)	0	10,000	10,000	10,000	
						(単位: 千円)					
		0	0	0	0	職員数	0	0	0	0	
						(単位: 人)					
【対象】		下水道事業特別会計		0		0		0		0	
【事前評価コメント】		緊急時に公共性等損なわないように計上している。									

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】 20 安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにする
 【施策】 2 水環境をよくする
 【基本事務事業】 2007 下水道を管理する

【節】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興
 【項】 都市基盤の整備
 【基本計画区分】 502 【担当課】 5037000 下水道維持課

【方針(目的)】
 公共下水道が整備されたことにより、川の水質を保全する

【外部環境の変化】
 良好な生活空間への意識が高まっている。既存施設の老朽化が進行しているため、整備中心から維持管理中心に転換せざるを得ない。

【取組み課題(現状と課題)】
 下水道施設の計画的な調査を実施し、適切な改修を行います。

コード 配下事務事業名
 200701 下水道事業特別会計繰出金
 200703 公共下水道管理事業
 200704 流域下水道維持管理負担金

【指標】	[H20]	[H21]	[H22]
下水道管渠の調査延長 (km)	281	316	351
()	0	0	0

【内部要因(強み・弱み)】
 下水道施設(管渠等)の経年劣化が進んでいる。下水道普及率が7割を超えており、他市と比較しても高い方である。

【目指す成果(今後の方針)】
 既存の下水道施設の機能が維持できます。

【事務事業】 200701 下水道事業特別会計繰出金

担当課: 5011000 都市整備本部企画管理室

【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	会計区分 一般会計			計画区分 一般事業				
				[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
一般会計から下水道事業特別会計に対し繰出しを実施することにより、下水道事業会計の負担を軽減し、健全経営の維持を目的とする。	評価対象外 ()		0	0	0	0	計画額	4,753,856	4,500,000	4,550,000	4,500,000
	()		0	0	0	0	(一般財源) (単位:千円)	4,753,856	4,500,000	4,550,000	4,500,000
	()		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	0	0	0	0
							【関連する業務名称】				
【対象】 下水道事業特別会計	()		0	0	0	0					

【事前評価コメント】

下水道会計の負担軽減のため、下水道幹線等建設整備及び維持管理、公債費償還及び償還利子等に充当されており、引続き長期にわたる繰出しが必要とされる。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 200703 公共下水道管理事業		担当課: 5037000 下水道維持課				会計区分 下水道事業特別会計					計画区分 計画事業				
【目的】 下水道施設の機能を維持し、浸水の防止や水洗化による生活環境の向上、公共用水域の水質保全および水循環システムへの寄与		【指標】 下水道使用料収納率 (%)	【指標概要】 収納額 ÷ 調定額	基準値 91.83	[H20] 92.03	[H21] 92.23	[H22] 92.43	【事業費】 計画額 (一般財源) (単位: 千円)	【基準年】 1,015,670 963,088	[H20] 1,011,016 948,339	[H21] 1,048,955 979,195	[H22] 1,029,328 967,540	職員数 (単位: 人) 21.5 22.5 22.5 22.5		
【対象】 供用開始区域内における新築・改造義務者及び下水道使用者		下水道管渠の調査延長 (km)	各年度の調査延長距離	211	281	316	351	【関連する業務名称】 下水道使用料徴収業務 水洗普及促進業務 常盤平衛生処理場維持管理業務 新松戸クリーンセンター維持管理業務 幸谷ポンプ場等維持管理業務 既設管等整備業務 下水道管理関係業務							
【事前評価コメント】 更なる水洗化の促進及び使用料滞納対策の強化を図るとともに、適正な維持管理を行えるよう現状の把握を強化する。															

【計画事業】

【実施計画番号】 86 【計画事業名】 計画事業名称の全文は、備考欄に掲載しています。
 【節項コード】 502 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興
 【項名】 都市基盤の整備

	H20	H21	H22
計画	下水道使用料の徴収水洗普及の促進各施設の維持管理業務既設管等整備業務(下水道管渠調査累計延長281km)下水道管理関係業務	下水道使用料の徴収水洗普及の促進各施設の維持管理業務既設管等整備業務(下水道管渠調査累計延長316km)下水道管理関係業務	下水道使用料の徴収水洗普及の促進各施設の維持管理業務既設管等整備業務(下水道管渠調査累計延長351km)下水道管理関係業務
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)
 実施計画名称全文「下水道施設の計画的な調査を実施し、適切な改修を行うとともに、災害時における液状化が想定されている緊急輸送路等に埋設されている管渠の耐震化及び主要な避難所におけるマンホールトイレの整備を行います」

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		200704 流域下水道維持管理負担金		担当課: 5037000 下水道維持課			会計区分 下水道事業特別会計					計画区分 一般事業			
【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]				
水洗化の誤接続を少なくすることで、雨水の浸入を減少させ、不明水率を引き下げる。	不明水率 (%)	(処理水量 - 有収水量) ÷ 処理水量	19.54	19.34	19.14	18.94	計画額 (一般財源) (単位: 千円)	2,147,438	2,163,023	2,226,428	2,252,892				
	()		0	0	0	0	職員数 (単位: 人)	0.55	0.55	0.55	0.55				
【対象】			0	0	0	0	【関連する業務名称】 江戸川左岸流域下水道維持管理負担 手賀沼流域下水道維持管理負担金								
流域下水道を利用する居住する 市民・事業所	()														
【事前評価コメント】															
負担金の適切な支出を図るため、対象汚水量に不明水率を減らすため、誤接指導を強化する。															